

平成27年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める 「ファミリーキャンプ」

- 1 趣 旨 自然体験活動を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。
- 2 期 日 平成28年2月13日(土)～14日(日) 1泊2日
- 3 対 象 者 キャンプや自然体験に興味のある家族
- 4 募集定員 12家族(60人程度)
- 5 参加者 13家族, 45人
(応募者: 30家族, 102人)
- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家職員
- 7 日程と主な活動



時 刻	2月13日(土)	時刻	2月14日(日)
15:00	受付	6:00	起床・テント撤収
15:30	出会いのつどい	7:30	朝食
16:00	科学で遊ぼう！ (ブーメラン・空気砲づくり)	8:30	スポーツライミングに挑戦！
18:00	夕食	11:00	アンケート
19:00	冬の星座観察	11:30	別れのつどい・解散
20:00	入浴		
22:00	就寝		

8 事業運営について

今回は、小さい子供から大人までいっしょに楽しめる「科学で遊ぼう」や「星座観察」, お互い励ましあいながら活動できる「スポーツライミング」を計画し、家族の絆をさらに深められるようにした。



9 事業の実際

(1) 科学で遊ぼう

科学で遊ぼうでは、「作って、遊ぶ」を目標に、「ブーメラン」と「空気砲」を実施した。「ブーメラン」では、小さい子供たちが簡単に作れるものと牛乳パックを利用し、大人も楽しめる2種類を準備した。「空気砲」はダンボール箱に穴を開ける程度の簡単な作りですぐできるように工夫した。できあがったら、プレイホールでブーメラン遊び、学習室での的を倒す空気砲遊びを実施した。自分たちで作ったもので遊ぶ活動に、子供たちだけでなく大人も大いに楽しむ姿が見られた。また、スタッフで巨大空気砲を準備し、大きな煙の輪が出るたびに歓声があがった。どうして輪になるのかやブーメランが曲がって帰っ



た。自分たちで作ったもので遊ぶ活動に、子供たちだけでなく大人も大いに楽しむ姿が見られた。また、スタッフで巨大空気砲を準備し、大きな煙の輪が出るたびに歓声があがった。どうして輪になるのかやブーメランが曲がって帰っ

てくることなど少しではあるが、科学に興味関心をもつこともできた。

(2) 冬の星座観察

冬の星座観察は、雨天のため実施できなかった。その代替プログラムとして、冬の星座の話とレクリエーションを実施した。冬の星座については、オリオン座や冬の大三角、冬のダイヤモンド、プレアデス星団など映像をもとに話をした。興味をもっている参加者も多く、説明側のなげかけに、多くの答えが返ってきた。後半のレクリエーションでは、家族間の交流も図れるように、全体を2グループに分け、ジェスチャーゲームを実施した。体いっぱい表現する姿にみんな笑いが収まることなく、楽しいひと時を過ごすことができた。

(3) スポーツクライミングに挑戦

スポーツクライミングに挑戦では、一人一人がゆっくり、また何回もチャレンジできるように時間を多く設定した。全体に安全指導をした後、3箇所を実施し、子供から大人まで何回もチャレンジする姿が見られた。子供の頑張る姿に声援を送りながら、親として子供には負けられないとさらに頑張る大人の姿など、家族で一つの目標に向かって取り組む活動となった。何回かチャレンジするうちに最後まで登りきる参加者も多く、その度に周りから歓声と拍手が起こり、楽しいひと時となった。

10 成果

家族でいっしょに取り組む活動を通して、家族の絆を深めることができた。

参加者からは「家族いっしょでの行動はなかなかないので、良い経験ができました。」
「気持ちよく事業に参加させてもらい、家族での思い出をまた一つ増やすことができました」などといった感想が寄せられた。

